



News Release

(別添)

2021年8月26日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター大阪本部

自然災害時にまさかの製品事故！？ ～停電時のCO中毒にも注意！～

1. 災害時に活躍が期待される製品の製品事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報において、災害時に活躍が期待される製品 (携帯発電機、カセットこんろ、ライター、モバイルバッテリー) による事故は、近畿地方2府4県 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県) では、2011年度から2020年度までの10年間に合計29件ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故 (ヒヤリハット情報 (被害なし) を含む)。

(1) 製品別 府県別 事故発生状況

表1に「製品別 府県別 事故発生件数」を示します。

表1 製品別 府県別 事故発生件数^{※2} (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
携帯発電機				1 [1]	1 [0]			2 [1]
カセットこんろ		2 [1]	5 [3]	6 [4]	4 [4]			17 [12]
ライター				5 [1]	3 [2]			8 [3]
モバイル バッテリー		1 [1]		1 [1]				2 [2]
合計	事故件数	3	5	13	8	0	0	29
	火災件数	[2]	[3]	[7]	[6]	[0]	[0]	[18]

(※2) []は火災件数。

(2) 府県別 被害状況

表2に「府県別 被害状況」を示します。

表2 府県別 被害状況^{※3} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	死亡				1 (1) [1]			1 (1) [1]
	重傷			3 (3) [0]				3 (3) [0]
	軽傷			3 (4) [2]	3 (6) [1]			6 (10) [3]
物的被害	拡大被害	1 [1]	3 [2]	7 [5]	4 [4]			15 [12]
	製品破損	2 [1]	2 [1]					4 [2]
合計	事故件数	3	5	13	8	0	0	29
	被害者数	(0)	(0)	(7)	(7)	(0)	(0)	(14)
	火災件数	[2]	[3]	[7]	[6]	[0]	[0]	[18]

(※4) 対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。表中において、製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。また、物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

2. 災害時に活躍が期待される製品の製品事故の事例

(1) 携帯発電機の一酸化炭素中毒

2015年11月（兵庫県、年齢・性別不明、軽傷）

【事故の内容】

工事現場で携帯発電機を使用中、一酸化炭素中毒で4名が軽症を負った。

【事故の原因】

携帯発電機を屋内で十分な換気を行わないまま使用したため、一酸化炭素中毒に至ったものと考えられる。

(2) カセットボンベの装着不良による発火

2017年11月（京都府、80歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

使用中のカセットこんろから出火して、周辺を焼損した。

【事故の原因】

使用者が、カセットボンベの切欠き凹部を合わせずに、カセットボンベが斜めとなった状態で無理に装着したため、接続部から漏れたガスに点火操作時の火花等が引火したものと考えられる。

なお、取扱説明書には、ガスボンベの切欠き凹部と、カセットこんろの容器受けガイド凸部を合わせ、正しくセットする旨、記載されていた。

3. 水害で浸水した家電製品の事故映像について

水害で浸水した家電製品の製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

製品安全広報課 課長 山崎 卓矢

担当者：製品安全広報課 岡田

電話：06-6612-2066 mail：ps@nite.go.jp